

品川区精神保健福祉家族会

かもめ会だより

年明けから年度末にかけて、かもめ会ではイベントがめじろ押しです。2ページ目には施設見学会のお知らせ、また最終ページには話題の新作ドキュメンタリー映画「どうすればよかったか？」の鑑賞代補助（会員対象）のお知らせがございます。インフルエンザ等がはやっていますので体調に気を付けて、皆さまどうぞ良い年をお迎えくださいませ。年明けのかもめ会イベントでお会いしましょう。



1月8日（水）第3回おしゃべり会のお知らせ

今年最初のイベントは今年度3回目となるおしゃべり会です。当日は、品川区選出の都議会議員さんがお一人お越しになる予定です。お弁当を頂きながらおしゃべりをしましょう。また、会員家族の話に耳を傾けてみましょう。今回は会場の定員の関係で、申込み先着順の24名限定となります。

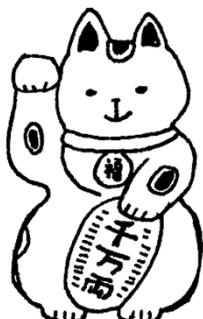
【日時】2025年1月8日（水）11:40～13:00

【会場】五反田文化センター3階 講習和室（西五反田6-5-1）

【申込】090-6190-6186 / shoda3@east.cts.ne.jp 庄田まで 会員は無料

昼食予約のため事前参加申込が必要です。なるべく2日前までにお電話ください。

※おしゃべり会の後は、徒歩3分の荏原保健センターで下記精神保健家族勉強会が開催されます。



1月精神保健家族勉強会のお知らせ

次回の精神保健家族勉強会（荏原保健センター主催）は1月8日（水）で、テーマは「当事者の話を聞いてみよう」です。講師は精神障害当事者会ポルケの山田悠平さんです。時間は13:30から15:30です。こちらは事前申込制です。参加希望の方は、荏原保健センター（西五反田6-6-6）☎5487-1311までお電話にてお申し込みください。

かもめ会役員会のお知らせ

1月8日（水）10:30から11:30まで、五反田文化センター3階の講習和室で役員会を行います。議題は1月23日（木）のかもめ会施設見学会のタイムスケジュールの確認、2月18日（火）のかもめ会セミナーの内容確認等です。役員の方はお集まりください。なお、当日10時から同会場でおしゃべり会の会場準備を行いますので、早く来られる方はそちらのお手伝いもお願ひいたします。



1月 23日 (木) 「かもめ第二工房」等 施設見学会のご案内

今年度1回目の見学先は、品川区西大井の精神障害者対象就労継続支援B型施設「かもめ第二工房」と同ビル上階にある「グループホーム金子山/森前ユニット」です。午前中にかもめ第二工房等を見学したのち、上野の鈴木演芸場へ向かいます。演芸場でお弁当を頂きながら寄席芸能と正月情緒を堪能します。笑いは健康の源です。みんなで楽しく笑って福を呼び込みましょう。

【日時・集合場所】2025年1月23日(木) JR西大井駅改札前 10:40集合

【申込】090-6190-6186 / shoda3@east.cts.ne.jp 庄田まで 会員は無料

参加人数把握のため、なるべく2日前までにお電話ください。



2月 18日 (火) もめ会セミナー 予告

かもめ会セミナーを開催します。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

【題名】発達障害の特性と対処 一ちょっとした対応でうまくいくコツ

【講師】品川区立発達障害者支援施設、ぷらーす成人期支援事業リクト
公認心理師 平賀 真美先生

【日時】2025年2月18日(火) 13:30~15:00

【会場】大井町きゅりあん4階 第一特別講習室(東大井 5-18-1)

【申込】090-6190-6186 / shoda3@east.cts.ne.jp 庄田まで



3月 12日 (水) 「げんき品川」施設見学会 予告

今年度2回目となるかもめ会施設見学会は3月12日(水)の午前中に、品川区大崎の「障害者就労支援センター げんき品川」を訪問します。見学後は参加者で昼食を頂きながら感想の共有・意見交換を行います。終了後は荏原保健センターで精神保健家族勉強会(荏原保健センター主催)が開催されます。詳しくは次のかもめ会だより227号をご覧ください。



「みんなで泳ごうかもめ会」 1月のご案内

会員のうち主に児童の保護者を対象にした「かもめキッズ」グループでは、今年度は障害児の健やかな成長と体力づくり、また運動不足解消を目的に、区立温水プールの全面貸切を行っています。

1月は以下のとおり曜日・時間が不規則で、2月の実施はありません。3月以降は決まり次第お知らせいたします。キッズ以外のかもめ会会員やご家族も参加可能です。参加は無料ですが、更衣室のコイン式ロッカー使用には10円が必要です(10円は返ってきません)。プールには監視員がおりませんのでご注意ください。またプール使用には水泳帽が必須ですので必ずお持ちください。

【日時】1月10日(金)、16(木)、23日(木) 19:20~20:50、31日(金) 17:20~18:50

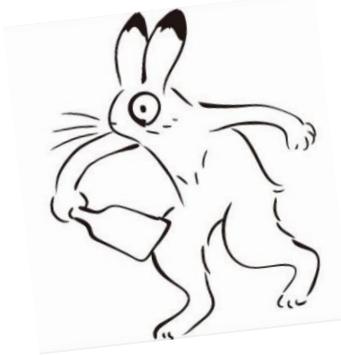
【会場】品川区立豊葉の杜学園温水プール(品川区二葉1-1-2)

【申込】090-6190-6186 / shoda3@east.cts.ne.jp 庄田まで



11月13日(水)おしゃべり会 報告

11月13日(水)、「みんなで歌おうかもめ会」合唱練習終了後に、五反田文化センターにておしゃべり会を開催しました。当日は、品川区選出の都議会議員のしのはらりかさんがゲストとしてお越しになりました。参加者25名で困りごとの相談や情報共有などを行ない、楽しく有意義な時間を過ごしました。終了後は荏原保健センター主催の「精神保健家族勉強会」に参加しました。



12月7日（土）「品川区障害者週間記念のつどい」に参加して

12月7日(土)午後1時半から、品川区主催の「障害者週間記念のつどい」のイベントがきゅりあんで行われました。かもめ会は第2部の「障害者団体発表会」に、「みんなで歌おうかもめ会」のメンバー19名で参加しました。指揮は会員の長谷川千代さん、ピアノ伴奏はかもめ工房の勝俣伸吾さんでした。曲目は「故郷」「三百六十五歩のマーチ」「手のひらを太陽に」の3曲で、会場の皆さんを交えて、手をかざしたり、足踏みをしたりして、一緒になって楽しく歌いました。

当日の第1部は、式町水晶さん(27歳)によるヴァイオリン演奏が行われ、大きく会場を盛り上げました。式町さんは、早産により脳性マヒになりましたが、母親のアイデアによりヴァイオリンを4歳から習い、その事で、手のしびれが緩和され脳への刺激によって、上達していきました。しかし、小学6年生の時に受けたいじめを機に、いじめた連中を見返したいという思いを強く持つようになり、上達に拍車が掛かりましたが、本来の音楽のもつ役割を見失ってゆきました。中学2年の時、東日本大



2



映画「どうすればよかったです？」鑑賞代の全額補助を行います

かもめ会ではこのたび会員を対象に、話題の新作映画「どうすればよかったです？」鑑賞代の全額補助を行うことと致しました。

12月7日(土)公開の本映画は、統合失調症の姉と家族の20年間を追った藤野知明監督・撮影・編集によるドキュメンタリー作品で、近隣では12月20日(金)からキネカ大森で上映されます。

映画代は後日清算しますので、半券もしくはレシート等をお忘れなくお持ちください。対象の方は、「シニア割引」「ハンディキャップ割引」「サービスデー」なども併せてご利用ください。

本作品は12月20日現在で、以下の映画館で上映中です。どの映画館でご覧いただいた分も補助対象です。なお、混雑状況や上映時間、終映予定などは各映画館に直接お尋ねください。

- ・キネカ大森（品川区南大井6-27-25 西友大森店5F、☎03-3762-6000）
 - ・ポレポレ東中野（中野区東中野4-4-1 ポレポレ坐ビル地下、☎03-3371-0088）
 - ・ヒューマントラストシネマ有楽町（千代田区有楽町2-7-1 有楽町イトシア・イトシアプラザ4F、☎03-6259-8608）
 - ・テアトル新宿（新宿区新宿3-14-20 新宿テアトルビル B1F、☎03-3352-1846）

※その他、ユーロスペース（12月21日～）、池袋シネマ・ロサ（12月27日～）等でも上映予定

The image is a composite of two parts. The top part is a yellow background with black Japanese text in the center. The text reads: どうすれば よかつたか? (How can I make it better?). The bottom part is a black and white photograph of a family of four at a restaurant. On the left, a young man in a blue shirt is eating. Next to him, a young woman with dark hair is looking towards the camera. On the right, a woman in a white shirt and a red beret is pouring a drink from a bottle into a glass. Next to her, a man in a white shirt and a red beret is smiling. The background shows shelves with various items and a menu board on the left.

婦の病気を認めてない」とで成立する「家族」のあり方。おそらく多くの機能性人間関係を通じる矛盾であり、その矛盾はつまり「カガミ」に現れる「ギンガム」である。インペカナリ★ 実寫映画・ノンフィクション作家
映像はある人らしい。
目もくらむ年月を重ねながら、日々と家族が、
そこにつながっている。求めることができなかつた助けの声が、
聞けたのかな? なつて社会に手渡された。
映像を覗くと、あなたには「うすればよかつた」ではなく
「わだしたちはどうすればよかつたか」という思ひが残れない。
永井玲衣 岩谷和也
カズキを持つ男――弟であり息子でもある彼は、
「撮る」とことばでかに自らの家族と、
そして世界と切って離はなつたのか。
記録されることががんがんたかもしれない場所で、
「ともちやん」と呼ばれる男から、
人間研究の目が立つようやってくる。
我々は、この効能的・効率的な姿として残っている。
森直人――映画評論家

家族という他者との20年にわたる対話の記録

而例を見るより、絵がうまくて優秀なや成りがいの婦。両親の影響から医師志し、医学部に進学した彼女がある日突然、事実とは思えないことを叫び出した。統合失調症が疑われたが、医師で研究者である父と母はそれを認めず、精神科の受診から娘を連れ去った。その判断に疑問を抱いた父の藤原知明(監修)は、両親に説得を試みるも解決には至らず、わがまわりを抱えながら娘家を離れた。

このまでは何も残らない——姉が発症したと思われる日から18年後、映像制作を学んだ藤野は帰省ごとに家族の姿を記録しはじめる。一家そろっての外出や食卓の風景にカメラを向けながら両親の話に耳を傾け、姉に声をかけづけるが、状況はますます悪化。両親は玄関に鎖と南京錠をかけて姉を閉じ込めるようになり……。

20年にはわたくしドキュメンタリーを通して家族との対話を重ね、社会から隔たれた家の奥と妻の姿を記録した本作。『どうすればよかつたか?』正解のない問いはスクリーンを越え、私たちの奥底に容赦なく響きつける。



12.7 |土| よりロードショー
全国共通特別鑑賞券 Y1,500(税込)

ポレポレ東中野
03 3371 0088 pole2.co.jp
JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分
都営大江戸線A3出口より徒歩1分

東京都イトシア イタリアブザザ
ト・テアルシネマズルーブ
ユーマントラストシネマ有楽町
03 (6259) 8608 tcg.jp

↑映画「どうすればよかったです？」チラシ